

はじめに

～スタート編（乳幼児期編）の作成にあたって～

子どもの健やかな成長はすべての親の願いであり、また社会全体の願いでもあります。中でも、家庭教育は、すべての教育の基本であり、子どもの基本的な生活習慣や思いやり、善悪の判断、社会性などを身につけさせる重要な役割があります。

一方で、誰しも最初から親として一人前であるわけではありません。日々の子育ての中で、悩みや喜びを感じながら、親として成長していくものではないでしょうか。

核家族化や少子化が進み、地域でのつながりも希薄になる中、身近な相談相手がいなくなったり、乳幼児とふれあう実体験が少ないまま親になったりすることが珍しくなくなってきました。また、大人のライフスタイルの変化、携帯電話やインターネットの普及など、子どもを取り巻く環境は日々変化しています。子どもの発達段階や今日的な課題を含めて、家庭教育について学ぶことがますます大切になってきています。

このため、熊本県では、より多くの保護者が、親として学べる機会を増やすため、保育所や幼稚園の懇談会、子育て広場やサークルなどの場、乳幼児健診等の多くの親が参加する場など、様々な機会に活用できる学習プログラムとして、本プログラムを作成しました。

本プログラムは、子育てに必要な「知識」を学ぶだけでなく、親同士の語り合いや振り返りを通じて、家庭で大切にしたいことに気づいたり、子育てに前向きな気持ちや自信を高めたりしていくことを目指しています。

今後、この「スタート編（乳幼児期編）」に続き、小学生、中学生や高校生の段階に即したプログラムも作成予定です。本編は、乳幼児期の保護者を主眼に置きつつ、小学生や中学生等の保護者についても活用できる内容になっています。

ぜひ、それぞれの立場から、身近な「親の学び」の場を広げ、すべての親が前向きに家庭教育に取り組み、子どもの健やかな成長につながるよう、本プログラムをご活用いただきますようお願いいたします。

平成22年3月

熊本県教育庁社会教育課